

慶蔵院寺報

公孫樹

2023年2月発行

第133号

浄土宗慶蔵院

伊勢市小俣町元町 1211

TEL 0596 (22) 3726



慶蔵院山門

画 山寄淑子

本堂と地蔵堂に新しい階段ができました

「本堂の階段に手すりが欲しい」「地蔵堂の石段が急であぶない」との要望をいただき、このほど木製の手すり付きの階段が、本堂と地蔵堂に完成しました。階段の傾斜も緩やかになり、見た目にも旧階段と調和しており、違和感のない落ち着いた風格ある階段となりました

登っていただくとお判りになると思いますが、しっかりとした手摺を持って安定感ある階段を安心して登っていただけます。階段の設置に伴い、さら板・靴箱も安定し、使いやすくなりました。ありがたいことです。どうぞお詣りいただいて実感していただければと願います。

階段の完成と相まって、一会館を利用するの枕経・通夜。本堂での通夜・葬儀を希望されるお家が増えていきます。やはり、伝統的なお寺の本堂の荘厳に勝るものはないと思います。駐車場も完備されました。費用の点でも安心です。御本尊の阿弥陀様の前で、故人の極楽往生を願って、木魚を叩きながら南無阿弥陀仏と称える通夜・葬儀は、お寺でしかできません。

葬儀のための掛け金を契約している業者があれば、その業者さんに、葬儀の会場はお寺を希望する旨を連絡し、業者さんにしかできない仕事のみを、積み立ててきた掛け金の中で対応する。たとえば、遺体の搬送・霊柩車・棺・お位牌の購入などがそれにあたります。業者さんから「これ、これのものはお寺のご仏前へのお供え物・お飾りとして必要です」とすすめられることがあるかもしれません。昔からの習わしが続いているのですが、慶蔵院の場合、必要ありません。その旨を業者さんにつたえられて、遠慮なくお断りください。

いずれにしろ亡くなってからあわてるのではなく、生前からお寺に向いていただいて、葬儀関係のことについて、任職とよく意見交換・交流をしておいていただくとお勧めします。火曜日と金曜日は大阪に治療に出いて、週休二日にさせていただいておりますが、事前に日程調整をさせていただきますので、どうぞ気軽にご連絡下さい。

2月の行事予定



1日(水)	写経会 男性詠唱隊	午前10時～ 午後7時～
8日(水)	落語会「いちご亭」 南遊亭栄歌・安楽亭東風	午後7時～ 一会館にて 無料 おひねり歓迎
12日(日)	涅槃会	午後1時～
15日(水)	健康教室 歩き方教室 講師 馬場久美子先生	午後1時～3時 参加費500円
19日(日)	子ども会・どむならん人形劇	午前10時～
11日・18日(土)	絵画サロン 講師 山寄淑子先生	午後7時～8時半 一会館にて 参加費1回500円
11日・25日(土)	戦没者慰霊平和の鐘鳴鐘 英語歌クラブ 講師 八木和美先生	25日、朝の勤行にて 午後1時～3時 一会館にて参加費 1回 500円 テキスト月 500円
9日(木)	ともいき英語サロン 講師 三浦邦昭先生	午前10時～11時半 午後1時半～3時 一会館にて 参加費1回1000円
10日・24日(金)	茶道教室 講師 河井宗恵先生 樋口宗恵先生 田島宗紀先生	午後7時～子供茶道教室 7時半～大人茶道教室 大人500円 一会館にて

慶蔵院豆知識

30

日々伝えられるウクライナのニュース、日本の世の中の動きには、私も関心を持たざるを得ません。人の「思い」でこの世は動いているのだと言われます。この「思い」とは、何なのでしょうか。人の「思い」は一つではないはずです。なのに、何かしら世の中が一つの方向に流れ、導かれ、雪崩うっていくような勢いを感じ、「これでいいのだろうか」：一人、ひとりの「思い」は、本当に大切にされているのだろうか：と思えてくるのです。

戦中には慶蔵院にも日本軍の部隊が駐留していました。戦地には赴かない衛生兵など気象観測を任務とするの兵隊さんたちがおられたと聞きます。境内の隅には大きな防空壕が作られ、掘り上げられた土で、イモ、なすびなどの野菜がつくられていました。寺の家族は小さくなって暮らしていたそうです。敗戦を迎えた日、兵隊さんたちが、銃など多くの武器を、山桜の樹の下に穴を掘って埋めているのを見た：と教えてくれた村の長老もいました。

…ああ許すまじ原爆を
三度許すまじ原爆を
我らの町に：

世の中の流れの中で、足をすくわれてしまわないように、環境が変わっても自己を保ち、耐えるところは耐えながら、事態にふりまわされないよう、主体性を持って、何が真実なのか、何が本当なのかと、見抜いていく目を持って、世の為人のため、自分のために生きていきたいと思っています。年頭にあたり、心構えを書き留めました。

(采子)



涅槃会 二月十二日(日)

日程

午後一時 法要

一時半〜法話

二時半〜休憩

三時〜法話

説教師

大阪 茨木市 乗雲寺

安井隆同上人



子ども会

2月19日(日) 10時

時



場所 慶蔵院「一会館」

浄土宗新聞を無料で
お渡しします!!

11ページ「ひろば」梵音より
「浄土宗新聞を楽しみに」長野県の上野さん
90歳でなくなられたお母さんは、南無阿弥陀
仏を毎日称えておられ、困ったときや腹の立つ
ときは、仏さまや神様に正直に申し上げると気
持ちが落ち着くと言っておられたそうです。
上野さんも写経しながら、毎朝お勤めをされ、
今日の無事を祈りつつ、浄土宗新聞を楽しみに
しておられるとのこと。



誰にでもできる 「野菜栽培講習会」開催の予告

神谷先生が、さらに新しい液肥を開発してくれました。ど
んな畑、家庭菜園の土であっても、この液肥を利用すれば、美味
しくて、安心な健康野菜が、素人であっても、簡単に栽培する
ことができます。家族の食べる野菜は自分で栽培することが大
切です。講習会の日程は、苗の成長をみつつ、
二月末頃を予定しています。
楽しみにしておいてください。



落語会「いちご亭」無料(おひねりあり)

今月は 第2水曜 八日

午後7時慶蔵院「一会館」に

出演

落語

法話

慶蔵院住職

南遊亭栄歌

TEL: 042-251-1111

住職の健康回復への道のり(十三)

「この世に生まれ、成長し、子供を産み育て、
老化し、やがて死に行くことを通して、子孫に
『いのち』をつないでいくこと」。これが自然の
流れであると石垣院長は常々語っておられます。
この自然な流れがスムーズに流れゆくために
は、私たちは健康でなければなりません。

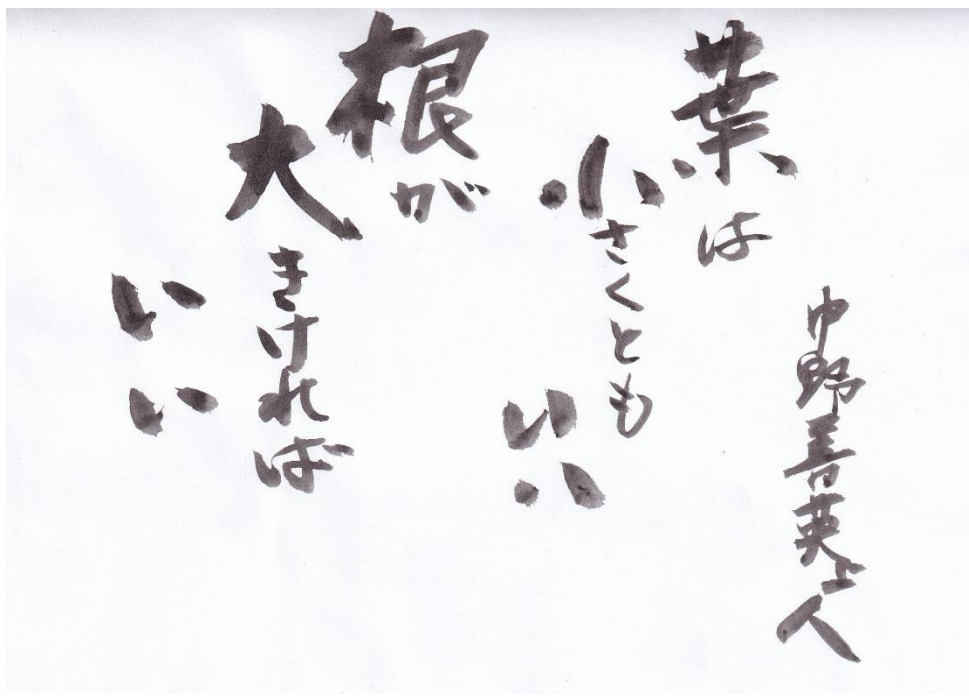
健康な身体の状態を院長は、このように整理さ
れています。

- ① 「からだ」の「しくみ」がスムーズに「はた
らく」状態
 - ② 「上腹部がやわらかい」状態
 - ③ 呼吸・循環・自律神経・人体力学・内臓全般
の動きが良い状態
 - ④ 総合的免疫力がある状態
 - ⑤ 自然免疫・獲得免疫が良く「はたらく」状態
 - ⑥ 自然治癒力がある状態
- このような状態の身体をつくり上げるため
に、火・金曜日と八尾に通院し、日日の生活
の中では、食事・半身浴・身体を冷やさない
ように気をつけ、深い呼吸を意識し、体操を
繰り返すことが課題です。
こうして健康体を取り戻していくと、持続
力、集中力、発想力、創造力も強まってくる
ように感じています。

湯豆腐に熱燗あれば暖かい

(「知恩二月号「柳壇」に掲載)

奥田 悦生



ホウレン草は双葉が出てからの成長が遅い。その間に根がまっすぐにしっかりと土中に伸びていく。ハウス栽培では、この間に水をやることは厳禁だ。根が伸びていかないからだ。地表の土が乾燥していても、種を撒く前にしっかりと水を沈み込ませてあるので土中の水を求めて、根は深く伸びていくことになる。これがしっかりと、味の良いホウレン草を育てるコツだということがわかるまでにのみみ、すいぶん遠回りをした。

「花が咲くのも根の力」という標語を始めて読んだのは岡崎の九品院の掲示板だったと思出す。「見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ」と昼の星やタンポポの根のことを謡ったのは金子みすゞだ。見えぬけれどもある私たちをいかにしている「大きな力」。どうしたらその力に気づき、人をして気づかせることができるのだろうか…。

弁栄上人の「慈悲、歓喜、正義、安忍・剛毅、貞操、謙遜、眞実等の徳」を、一つ一つ道徳として身に付けていくことは、簡単なことではない。それらの徳が大きな葉に育つことはかんたんなことではないだろう。しかし南無阿彌陀仏を称えていると、身体の見えないところに根が張っていくように、これらの徳がしみこんでくるように感じることもある。まさに「お念仏が育ててくれる人間性」なのだと思えてくるのだ。

横井久美子にとっては、歌こそが私を生かしてくれる「大きな力」だったのでろう。

「歌は私に教えてくれた。この世にどれほどの悲しみと痛みがあるかを。…独りを怖れるな、すべては独りからはじまると。たとえ大地が悲鳴を上げて、憎しみが大空を覆っていても、こんなに私が愛を感じるの、歌があったから。歌にありがとう、あなたにありがとう。歌にありがとう、ありがとう」

横井は、歌に生かされてきた。歌は、はっきりと見える存在であった。その大きな力は、人にも伝えることができる見える力であった。お釈迦様は語った。「サイの角のように一人歩め」と。